

関西セミナーハウス活動センター

●2011年度 お茶のこころと宗教のこころ
第2回 「高山右近の生涯と
その列福運動について」

キリシタン文化研究会 天田 茂さん

2011年10月17日(月)

最近、NHKの歴史秘話「ヒストリア」で「絶対に裏切らない武将」として紹介された高山右近は、日本で唯一、むしろフィリピンやヨーロッパでよく知られており、マニラ市パコ広場に右近像があり、スペインのバルセロナ聖イグナシオ洞窟聖堂には、モザイク画の中に描かれています。現在、没後400年記念に合わせて、列福を目指した運動が始まっています。



高山右近は、時代を動かし、た有力武将であり、領民の厚い信頼を集めていました。大名になつてからも貧民の葬式の棺を自ら担いだという逸話が伝えられています。また築城術に優れ、洗練された文化人、茶人でもありました。キリシタンが禁じられてからも

郷里で、どこに滞在したのかを、当時の生の資料に当って深く研究しておられます。坂本の新町にあった遊郭ではなかったかというは大変興味ある説だと思いました。

京都には、非常に多くの信者がおり、教会もありました。が、豊臣秀吉、徳川幕府のキリシタン迫害は徹底的で、破壊は根こそぎであったため、京都のキリシタンの足跡はほ

●2011年度 神学生交流会
第2回 「お茶を楽しみながら
神学とは何かを考える会」

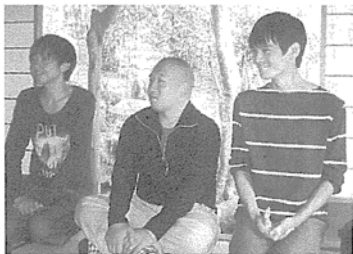
同志社大学神学部教授 関谷 直人さん

2011年10月8日(土)

会に先立ちセミナーハウス

職員の仕事による昼食会を持った。澄み渡る秋空の下、2階テラスで猪肉等のパーベキユーを楽しんだ。その後茶室「清心庵」に場所を移し、同志社大学神学部の学生5人、関西学院大学神学部の学生3人に、神学に関心のある、中

とんど残されていません。長崎で殉教した26聖人の多くも京都の信者でした。元和の京都の大殉教では、六条河原で11人の子どもを含む52人の信者が十字架に縛られて火あぶりにされました。世界のキリスト教の歴史の中でも、短期間に5万人(一説には20万人)もの殉教者を出した国はありません。この悲劇の頂点にいた人として高山右近をとらえ直したいと話されました。



このような交流が継続されて、学校を超えて神学をする友人ができることは、キリスト教界の発展にも有益なものとなる。

関東活動センター

●今日的課題プログラム

関東活動センター・日本基督教団東京教区北支区共催

「森は海の恋人
人の心に木を植える」

「牡蠣の森を募う会」代表、京都大学フィールド科学教育研究センター社会連携教授 畠山 重篤さん
2011年12月3日(土) 日本基督教団信濃町教会

「森は海の恋人」このスロガンを掲げて、気仙沼の海を守ってきたのは、三陸の巨人と呼ばれる畠山重篤さん。

昨年12月、その畠山さんをお招きして、地球温暖化、エネルギー消費、食といのちといった問題を、震災を経た今、改めてどう考えるべきかについて、思いを語っていただきました。

宮城県の気仙沼湾は、遠洋漁業も養殖業も盛んな町として知られています。ところが、だんだん環境が悪化し、赤潮が多発するようになりまし。気仙沼湾の環境が悪化した原因について、畠山さんはこう振り返りました。

「赤潮が増えると、貝や牡

以来、畠山さんは、海の生

蠣が減り、時には死んでしまふのです。それで漁師は困るわけです。

ではどうしたらいいか。漁師ですから、今までは海のほうばかり見ていたのですが、海の汚れの原因は陸側、つまり人間、海しか見ていなかった人間が、湾に流れ込んでくる川の河口から上流まで自分の足で歩いてみようというこ

とになりました。水産加工場のからの汚水が浄化されずに流されたことがわかまりました。街からは側溝を通して真つ黒な水が流れ込んでいました。これでは海が汚れるのは当然でした。」

子どもたちのために、精神的に全国各地で活動を展開しておられます。震災後の気仙沼湾について、畠山さんはこのように語りました。

「せっかく息子たちも跡を継いだのに、震災でもう終わりかと思うと、本当に何とも言えない思いでした。けれど、一カ月ほどしたら孫が『おじいちゃん魚がいるよ』と言っています。急いで行ってみると、その通りでした。それを境にどんどん魚が増えてきています。」

「森は海の恋人」の方向性は間違いないかったのです。もちろん多くの問題はありますが、海は大丈夫です。しかし、これほどまでに痛い思いをしながらも、人々が海辺に暮らしたがるわけがあったためです。支援ください。」

この原稿を書いている最中に、畠山さんが国連の「森の英雄賞」受賞(2月9日)のうれしいニュースが飛び込んできました。畠山さん、本当におめでとうございます。



この原稿を書いている最中に、畠山さんが国連の「森の英雄賞」受賞(2月9日)のうれしいニュースが飛び込んできました。畠山さん、本当におめでとうございます。

この原稿を書いている最中に、畠山さんが国連の「森の英雄賞」受賞(2月9日)のうれしいニュースが飛び込んできました。畠山さん、本当におめでとうございます。